

# 議 事 録

会 議 名	第46回 宇都宮市環境審議会 議事録	
開 催 日 時	令和5年12月25日（月） 午後4時 ～ 午後5時	
開 催 場 所	宇都宮市役所 本庁舎14階 14A会議室	
出 席 者	環 境 審 議 会 委 員	石川京樹委員，手塚泉委員，岩井潤子委員，高橋英樹委員，森嶋佳織委員，横尾昇剛委員（会長），北浦さおり委員，新井有明委員，篠崎務委員，鈴木大介委員，増淵弘子委員（副会長），小林紀夫委員，小金澤頼子委員，大森幹夫委員，稲見正雄委員，西口璃空委員
	欠 席 者	加藤彰委員，稲葉全郎委員，半田光隆委員，鈴木紀行委員
	事 務 局	環境部長，環境部次長，環境部副参事，環境創造課長，環境保全課長，廃棄物政策課長，カーボンニュートラル推進室長，環境創造課長補佐，環境創造課職員6名
公開・非公開	公開	
傍聴者・記者	傍聴者0名，記者0名	
会議概要	1 開会 2 会長・副会長の選出について 3 議事 「宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定（素案）について 4 その他 議事録の確認依頼について 次回審議会の開催予定について 5 閉会	

## 発言要旨

会長	宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定（素案）について，事務局より説明をお願いします。
事務局	— 資料に基づき説明 —
会長	宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定（素案）について，委員の皆様から御意見をいただきたい。
委員	別紙1裏面右側の「施策による削減見込み量」中の表【削減見込み量（部門別）】において，削減見込量（2030年度）の縦軸に「電力排出係数の低減」とあるが，これは市民や事業者がより二酸化炭素排出量の少ない電力を選ぶという意味合いなのか，あるいは国のエネルギー政策上の電力構成が，2030年度には火力発電の割合が低くなり，太陽光発電等の再生可能エネルギーが増えることで削減見込み量が増えていくのか。
事務局	電力排出係数の低減については，国の施策によるエネルギー基本計画において，2030年に予定されている電力構成を当てはめたものになっているため，今後の電源構成の推移によって温室効果ガス排出量が削減されるものとして見込んでいる。

委員	<p>・市役所における脱炭素化の推進というところで、市有施設への太陽光発電設備の最大限導入、全市有施設への LED 照明の導入を行う場合、市民の方に周知する必要があると思うが、どのように周知していく予定なのか。</p> <p>・年末のごみの処分の仕方についての回覧が回ってきたが、その回覧に「さんあ〜る」アプリの紹介が掲載されていなかった。今後、「さんあ〜る」アプリの周知はどのように行っていく予定か。</p>
事務局	<p>・今回の審議会では、宇都宮市地球温暖化対策実行計画の「区域施策編」ということで地域全体について示しているが、こちらと同時並行で「事務事業編」の改定も行っているところである。「事務事業編」については、市役所の取組を今後どのように実施していくのかについて記載している。そちらでは、市有施設に太陽光発電設備を最大限導入していく計画等を、現在策定中である。</p> <p>・「さんあ〜る」アプリは様々な機会を通じて市民の皆様にご覧いただき、活用していただけるよう周知していく。</p>
委員	<p>「市有施設」には学校も対象として含まれるのか。</p>
事務局	<p>学校や地区市民センター等、全ての市有施設を対象にしている。</p> <p>ただし、まずは脱炭素先行地域内の地区市民センターや小学校を対象に設備導入を実施し、その結果を踏まえて検討を行い、市有施設全体の設備導入にあたっては P P A 事業等を活用し、より効率の良い施設から行っていく。</p>
委員	<p>可能であれば市営住宅にも太陽光発電設備を設置してほしい。市営住宅に住んでいる市民が、再生可能エネルギーを活用できることは非常に重要なことだと思っている。自分たちで設置ができない方々向けに設置することの優先度を上げてほしい。</p>
会長	<p>カナダのバンクーバーでは、ソーシャルハウジングへの太陽光発電設備の導入を積極的に実施している。導入は中長期になると思うが、念頭に入れても良いと思う。</p>
委員	<p>普及啓発の推進について、他都市はゆるキャラを使ってアピールをしている。是非、各種イベントにゆるキャラを使っていただきたい。特にこれからは、ただ大人たちや企業が頑張るのではなく、子供向けにも環境教育を行うことで、親も意識し始められる。数億円規模で事業を実施するのであれば、着ぐるみ等を作成し、子供の環境意識の啓発ができるような事業を考えていけたら、市民の方々がもっとわかりやすく環境問題について取り組められると思う。</p>
事務局	<p>もったいない運動市民会議という組織があり、そちらと連携しながらもったいないフェア等のイベント実施を行っており、イベントの場等を活用して子供向けに周知を行っており、様々な手法で啓発を行っていききたい。</p>
委員	<p>・脱炭素と持続可能性は一緒に進んでいくものだと思っている。カーボンニュートラルの達成のためには、省エネと再エネの推進だけでは難しいと思う。また、行政に任せるとはならず、市民が一体となって進めていく必要があるため、そのような政策を実施してほしい。</p> <p>・省エネ、再エネを強引に推進していくと、無理や我慢を強いられるイメージがあり、生活が悪くなると思う方が多いため、SDGs の達成やカーボンニュートラルを目指すことで、生活がより豊かで快適なものになるということを、見た目で見えるように周知してほしい。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsについてはご指摘の視点も含めて記載していきたい。</li> <li>・「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」においても、カーボンニュートラルの実現による、市民生活におけるメリットを提示している。今回お諮りしている「宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定素案の中にも、市民にとって身近な問題として捉えていただけるよう、コラム等を掲載しているため、ご指摘の視点も取り入れながら、周知啓発を実施していく。</li> </ul>
委員	<p>環境基本計画や「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」に掲載されている、将来の「まちのイメージ」や「目指すまちの姿」の図は、子供たちにもわかりやすいため、活用してほしい。</p>
事務局	<p>「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」における「目指すまちの姿」は、2050年を想定したものであるため、今回お諮りしている「宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の計画期間・目標年次とは異なるものであるが、わかりやすく表現しながら周知啓発していきたい。</p>
委員	<p>計画の推進体制について、「環境基本計画推進委員会」において評価し、「カーボンニュートラル推進本部」に報告するということが、計画の評価は非常に重要だと思うため、こういった推進体制を取ることは非常に良いと思う。</p> <p>ただし、計画は策定時が一番新しいが、時間の経過につれて陳腐化していく。温暖化対策は日進月歩であるため、当初の計画にとらわれず、柔軟に進めていく体制をとってほしい。</p>
会長	<p>今後数年で政策転換が起きる可能性があるため、委員のご意見は重要な指摘かと思うが、事務局側の見解はどうか。</p>
事務局	<p>毎年度計画の進捗評価を実施するとともに、上位計画にあたる環境基本計画の計画期間を令和7年度までと定めているため、そうした実情も踏まえて、今回お諮りしている「宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定後の計画期間は、改定前に環境基本計画と同様に令和7年度までと定めていた期間を、令和12年度（2030年度）までと改めている。ご指摘の内容については、令和7年度に実施する環境基本計画の改定の中で、必要があれば、対応していきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸部門の温室効果ガスの排出量について、栃木県は自動車の保有台数が多いと話題になっている。自動車の数そのものを減らすのは難しいが、環境配慮型の運転等で、温室効果ガス排出量を減少させるのも良い方法なのではないか。運輸部門だけでなく、他の部門においても環境配慮を謳い、総じて温室効果ガス排出量を減少させていくということを、子どもたちから理解してもらえそうな取組を進めてほしい。</li> <li>・別紙3の53ページの表21「2030年度までに必要な環境投資額」における「市の投資額」の400億円については、どのように積算を行ったのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エコドライブ」については、「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」にご指摘の視点を取り入れて掲載している。また、別紙3の57ページに掲載しているコラム、「デコ活」～くらしの中のエコろがけ～にも、ご指摘の視点を取り入れている。</li> <li>・別紙1裏面右側の「施策による削減見込み量」中の表【削減見込み量（主体別）】のうち、市独自の「追加的施策」において実施する事業に要する費用の合計になっている。</li> </ul>
委員	<p>エコドライブ等の環境配慮行動は、事故のない社会を作ることや、道路面の保全等、他の面でも良い効果をもたらすことになり、実施すること自体が横断的な取組となるため、施策の連携という視点にも配慮してほしい。</p>

会長

取組による副次的な効果も明示し、多くの市民に届くようなものを考えていってほしい。  
以上で、議事を終了する。